



発行所
青森県高等学校・障害児
学校教職員組合
青森市横本1丁目2-25
教育会館 017(734)7287
編集発行人 田村儀則
購読料一部20円は組合費
の中に含む

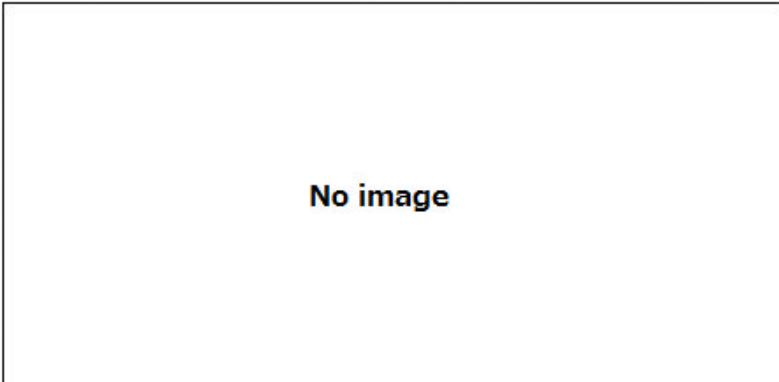
教職員と家族の安心のための
全教自動車保険

●教職員のための事故対応
●教職員のための安心・充実の補償

●ロードサービスも充実!
●全教員専用サービスで2割の優待
●全教員専用保険料は、全教員が負担
●専任の専任弁護士がサポートして大損害
も自動車保険です。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso/05/>

ニューヨークを1万人がパレード
26日は日本からの代表団
1058人を含む世界各国
から結集した約1万人がマ
ンハッタンを2時間以上か
けてパレード。日本から被
爆者の方々も多数駆けつけ
ました。パレードは、被爆
者でノーベル平和賞候補の
節子・サロー氏を先頭に
出発し、各自が手作りの横



4月27日、ニューヨークの国連本
部においてNPT再検討会議が開催
されました。私は原水爆禁止日本協
議会の代表団1058人の1人とし
て、会議に向けたデモ行進や署名活
動、各種交流会などの市民行動に参
加しました。(青森中央 高松)

NPT再検討会議に青森高教組から参加 核兵器の全面禁止を!

NPTとは
核拡散防止条約。核保有国の核兵器
削減と新たな核兵器保有国が増
えるのを防ぐため国連で1963年
に調印され、1970年に発効した。
運用状況を検討するため、1995
年から5年ごとにニューヨーク
の国連本部で再検討会議が開催さ
れている。NPTがあるにもかかわらず、核保有国と非保有国の意見は対立し核兵器は減っていない。今回の再検討会議では、日本が提案した被爆地の広島、長崎への訪問を世界の指導者に促す文言が一部の核保有国の反対で最終文書に盛り込まれなかった。

断幕やプラカードで「核兵器、NO!」を訴えました。かなり年輩の米婦人達が「コードピンク」という団体からパレードに参加していました。ド派手なピンクの衣装と小道具でバリバリに活動していたら、彼女達。米国がイラン・イラク戦争をしていた時、「若く戦争をしていた時、」若者や戦場に送るな! 徴兵者なら(老人の?) 私達をしる。私達が戦場に行く!」と訴え、役所の前で座り込んだ末、公務執行妨害で逮捕されたとのこと。その他にも地道で大胆な活動を展開している「コードピンク」には、本当に勇気づけられました。

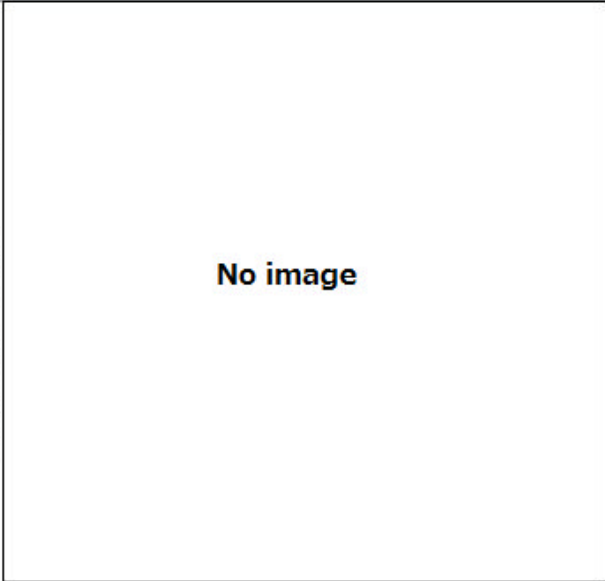
633万筆の署名を国連に提出!
パレードの後、日本原水協代表団は、今回最大の目的としていた「核兵器全面禁止のアピール」署名を、同会議のT・フェルキー議長とA・ケイン国連軍縮担当代表に提出しました。国連前のハッシュホルド広場に山と積まれた署名は合計633万6205人分。その後、国連で開かれた第9回NPT再検討会議の冒頭では、潘基文国連事務総長は、潘基文国連事務総長のメッセージが発表され、その中でこの署名を「軍縮

のチャンピオンに感謝!」すると賞賛したそうです。翌27日は、各国のパネリストを迎えて国際シンポジウムが開かれました。ヒロシマ・ナガサキでの被爆体験談の他、英国の核軍縮行動家による現状分析、米国の様々な取組み等が紹介され、質疑応答も盛り上がりました。その他にも「女性」「青年」「福祉と医療」等に様々な集会が開催され、共に核兵器のない世界を目指そうと誓い合いました。

坂道の風
▼私は陸上競技の中で、はりレいや駅伝が好きだ。自分の担当した区間を精いっぱい走り、次の走者に襷やバトンを繋ぎ、ゴールを目指す姿に感動を覚える。教育活動や組合活動も、何かを繋げていくということでは、このレレーに似ている。▼今、最も繋げたいことは「日本国憲法」の素晴らしさだ。この憲法の平和主義があるからこそ、70年も戦争の惨禍に巻き込まれることがなかった。安倍内閣はこの素晴らしい憲法を変え、日本を戦争ができる国にしようとしている。もし、戦争ができる国になったら、殺されたりするかもしれない▼憲法が危機にあるこの時代を走っている私たちは、このような事態にならないように、憲法の良さを学び、次の世代にそのまま繋ぐ必要がある。先輩方が築いてきた思いがしみこんだ、目に見えない襷を肩に、次の世代に良いものをつなげるようにしたいものだ。(お)

1886年5月1日、長時間労働に苦しめられていたアメリカの労働者が、「仕事に8時間、休息に8時間、自分がしたいことに8時間を」とゼネラルストライキに立ち上がりました。そして、1890年5月1日、世界各国の労働者が連帯の集会和デモを行う「第1回国際メーデー」が開催されました。以来毎年、世界中で労働者の祭典としてメーデーが開催されています。

今年も5月1日に県内各地でメーデーが開催され、多くの仲間が連帯を確認しました。



メーデー県中央集会

第86回メーデー青森県中央集会在青森市の青い森公園で開かれました。主催者を代表して奥村榮県労連議長が挨拶し、自衛隊を海外に派兵する「戦争立法」を

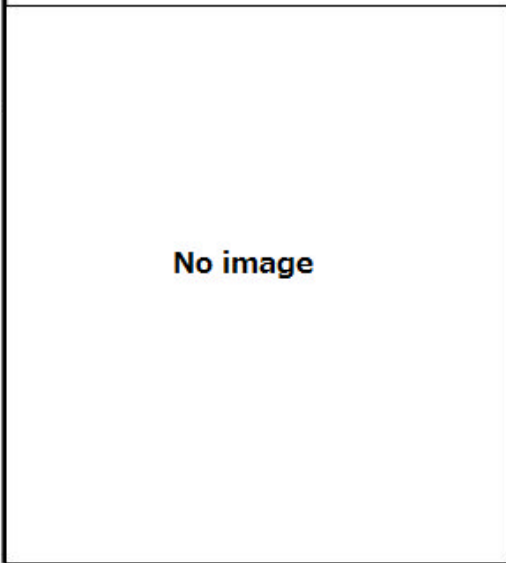
阻止しようと訴えました。デコレーション発表では、安倍首相の暴走ぶりをヨンの特別授業風景にして風刺した高教組が最優秀賞を獲得しました。

第86回メーデー

労働者の祭典 各地で意気高く

三八地区メーデー

爽やかな風が吹く中、三八地区メーデーが長者のまつりめぐ広場で開催されました。参加者は約150人で、高教組の田村氏が議長を務めました。中道実行委員長挨拶の後、来賓挨拶は県南初の県議会議員松田勝氏が行いました。時代の変化を感じる歴史的なメーデー集会でした。集会終了後は、八戸中心街をシュプレヒコールで氣勢を上げながらパレードを実施しました。道行く人たちの

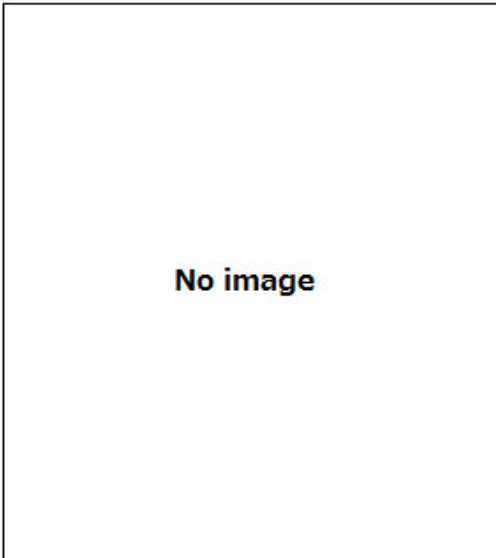


暖かい視線を感じたパレードでした。

中弘南黒地区メーデー

メーデー中弘南黒地区集会が行われ、高教組中南支部も参加しました。集会全

体の参加は17組織322名でした。中南支部からは3名(OBは5名以上)の参



加でした。会場は弘前駅前公園。参加者はそれぞれの思いを記したプラカードやデコレーションを持ち寄っていました。集会では年金者組合などのリレートークの後、「働く者の団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本を目指そう」の基本スローガンを採択しました。集会後は、弘前公園までパレードを行い、市民に私たちの思いをアピールしました。高教組からの参加は減っていますが、地区内で共に戦う仲間とのつながりを感じるメーデー集会には今後も参加を続けていきたいです。

子どもの中に種を見つけてみよう! 春の教育実践講座

No image

教師の仕事として大事なことは、子どもの内面を理解すること。「子どもの内面を理解する目的」は「教師と子どもが心を通わせること」の一言に尽きると氏は話されました。

新シリーズ



No image

4月8日より長期研修抜いでマラヤ大学・予備教育センターで働いています。

現地ホテルへ到着。職員会議であいさつをする筆者。

ここでは高校を卒業した優秀なマレーシア人の学生が2年間、日本の工学系大学へ進学するために、日本語・数学・物理・化学を学んでいます。在籍する各学年100名程度のほとんどが政府派遣の留学生として日本の国立大学へ進学します。

私の仕事は、マレーシアの学生に日本語で数学を教える、日本の大学受験のための準備をすることです。ここで働く日本人教員は、団長1名、教科教員18名(数学8、物理5、化学5)、日本語科教員12名です。日本語科にはマレーシア人の教員もいます。

みんなで学び、みんなで合格! 「虎の穴」好評開催中!

4月25日、60名を超える参加者で教育会館2階会議室はいっぱいでした。滋賀県立大学の福井雅英氏の「子どもの中に種を見つけよう」と題した講演を拝聴しました。22年間中学校教員を経験した中で、エピソード、教師に反抗し暴力をふるう生徒にとことん向き合い、彼らの内面に寄り添い、支え、進路を切り開いていく実践に思わず引き込まれていきました。

4月25日、『虎の穴』を県教組主催の「春の教育実践講座」とともに開催しました。県教委が4月17日に発表したばかりの今年の教員採用試験の募集定員と昨年度の採用試験の総括表を見て、自分自身が受験する学校種や教科の倍率を確認しました。

集団討論演習では、1分間で話すためのキーワードづくりの練習をしました。また、採用試験の面接調査まで合格!

～第64回東北民教研「浅虫集会」中間集会～ 東北各地から参集

9日の講演題は「地域を守りぬく国民教育運動を進めるにはどうすればよいか」。講師は弘前大学の大坪正一教授でした。氏は国

去る5月9日・10日に浅虫温泉「海扇園」で上記の集会が開催されました。東北各県と青森県内から約60人の参加者がありました。

民教育の定義、役割、授業の留意点、教師の限界と協働などに関して話されました。「国民としての自己形成が必要」「大人が育たないと子どもが育たない」「教師一人で子どもを育てるのは無理で、協働が必要だ」など、理論的な観点と、教師としての考え方や示唆に富んだ話をしていただきました。講演終了後と10日は15の分科会に分かれて、個別のテーマで研究を深めました。

No image

講演をする大坪氏

全国の仲間と連帯し、 声を上げ続けよう!

4月18、19日、全日本教職員組合女性部及び障害児教育部総会が行われました。2014年度運動の総括、2015年度の運動方針等について確認するとともに、全国の仲間の積極的な発言を聞き、青森県での運動に向けて決意を固めることができました。

障害児教育部総会

障害児教育部第25回総会では、全国各地の取り組みや障害児教育を取り巻く状況の報告がありました。障害児学校(特に知的障害特別支援学校)の過大・過密はいまだに解消されていませんが、多くの県で学校の新設や増築が進んでいることも報告されました。障害児学校に設置基準を策定する運動については、国会の場でも語られることも多くなり、広がりを感じました。1日目終了後には四ツ谷駅前で設置基準策定を求める署名運動を行い、短時間で75筆集めました。2日目に「まわりと手をつなぐことが未来へとつながる」等の総会決議を採択しました。障害児教育に関する運動への決意を新たにすることができました。

女性部総会

女性部総会には、全国43組織から出席があり、「様々な権利があることを知らない人が多く、職場ではほとんどの人が子どもが病気の時に年休を取っている」、「私は全教を選びました」と言って新年度5名が

アピールをする女性部

加入した」など、たくさんの発言がありました。先輩や私たちが獲得してきた権利を広く伝えるとともに、さらに拡げて働きやすく自己実現できる職場づくりを進めていくことを確認しました。

No image

署名運動をする障害児教育部

青森高教組第76回定期大会

期日:2015年6月13日(土)

10:30~17:00

会場:青森県教育会館2階会議室



各支部からの出席をお願いします。
分会状況を交流し、今年度の運動方針を決めます。

支部内分会との連携を密に 中南支部定期総会&懇親会

4月11日(土)、中南支部総会、春の懇親会が行われました。総会は来賓として中弘黒地区労連議長山本公行氏、青森高教組特別執行委員逢坂拓氏も参加し、総勢9名の参加でした。総会では昨年度の活動を総括するとともに、新年度の活動方針を確認しました。新年度はこれまで以上に支部内の各分会との対話

を中心に連携を深めることをしました。総会後は会場を替えて懇親会を行いました。参加は7名でした。最近の情勢や思いを語り合い楽しいひと時を過ごしました。会場の店名はフランス語で「平和」を意味するということで、平和を守るといいたいと感じる会にもなりました。今後もこのような支部集会に多くの分

会からの参加を期待しています。

No image

新年度の活動を確認した中南支部

全教自動車保険

教職員のための 自動車保険

- 「被害者救済・加入者保護」の事故対応で教職員を守ります
- 教職員のための安心・充実の補償をご提供しています
- 教職員のカーライフをトータルでサポートします

えらんで
ますか?



全教自動車保険は、全日本教職員組合が東京海上日動と提携して実施する自動車保険です。